

■（１５０）落胆、嘆き……「真珠湾」から７２年に新聞が受けた指摘

『真珠湾攻撃』関連の記事は皆無で……。仲間内のメールマガジンで、太平洋戦争開戦から７２年にあたる１２月８日の朝日新聞でさえ、投書やテレビの特集番組の紹介記事を除けば、正面から戦争問題を取り上げた記事が見つからなかったとの指摘があった。戦時中の言論統制を想起させるなどとして、多くの新聞が反対の論陣を張った秘密保護法が成立して２日後の紙面だ。メールからは、新聞への「落胆」「嘆き」が聞こえてくるようだった。

記事データベースで確かめてみた。「真珠湾攻撃」「太平洋戦争」の単語で検索すると、出てきた記事は天声人語など全国で９本だった。その中で西日本向けの紙面に掲載された「細る語り部、傷痍軍人会」の記事に目がとまった。戦地で負傷したり病気になったりした元軍人の団体で、会員の平均年齢はすでに９０歳を超えた。会員減から、ついに１１月に全国組織が解散したという。戦争を伝えることの難しさと大切さを痛感させられた。

数十年前に通った小学校は、「原爆の日」は夏休みの登校日で、被爆者らから平和の大切さを学んだ。これからは誰がどう伝えるのか。新聞も学校も避けられないテーマだ。（山）